

## 企業が求める人材と雇用形態について

～ 求める人材は、比較的専門性の高い即戦力～

### はじめに

デフレ経済が続くなか、雇用情勢は極めて厳しい状況にあり、総務省の発表によれば 2002 年度の平均完全失業率は 5.4% で 1953 年の調査開始以来最悪の水準となっている。和歌山県の雇用情勢もまた例外ではなく、平成 14 年の有効求人倍率は 0.44 倍と低い水準である。そういったなか、雇用形態の多様化が進み、企業にとっても求める人材を効果的に採用できるかどうかことが重要課題の一つとなっている。そこで、県内企業が求めている人材や雇用形態を把握すると共に、求人と求職のミスマッチの実態について調査・分析を行った。

### 企業が求める人材

企業が求める人材として全産業で最も多かったのが「営業担当者」の 33.1% であり、次いで「技術・研究開発担当者」(22.0%) 「企画・販促事務担当者」(13.7%) 「管理業務担当者」(12.8%) 「社内・IT 管理者」(9.0%) と続いている。「接客・給仕担当者」(5.3%) や「一般事務担当者」(4.1%) 「運輸・通信担当者」(1.7%) は比較的少なかった。

業種別にみると、建設業では他業種に比べ「管理業務担当者」(18.2%) へのニーズが高く、製造業では「技術・研究開発担当者」(48.1%)、商業、サービス業では「営業担当者」(45.3%、33.1%) へのニーズが高いことがわかった。

また、「採用活動はしない」とした企業は全産業で 32.1% であった。

【複数回答】(%)

	建設業	製造業	商業	サービス業	全産業
営業担当者	27.3	19.8	45.3	33.1	33.1
技術・研究開発担当者	27.3	48.1	10.9	13.8	22.0
企画・販促事務担当者	6.8	9.4	19.7	13.3	13.7
管理業務担当者	18.2	9.4	11.7	14.4	12.8
社内・IT 管理者	13.6	5.7	11.7	7.7	9.0
製造・建設に係る作業員	11.4	20.8	4.4	2.8	8.1
接客・給仕担当者	0.0	0.0	8.0	7.7	5.3
一般事務担当者	2.3	0.9	4.4	6.1	4.1
運輸・通信担当者	0.0	0.0	0.7	3.9	1.7
採用活動はしない	36.4	23.6	34.3	34.3	32.1
その他	2.3	1.9	0.7	7.7	3.8

## 企業が求める雇用形態

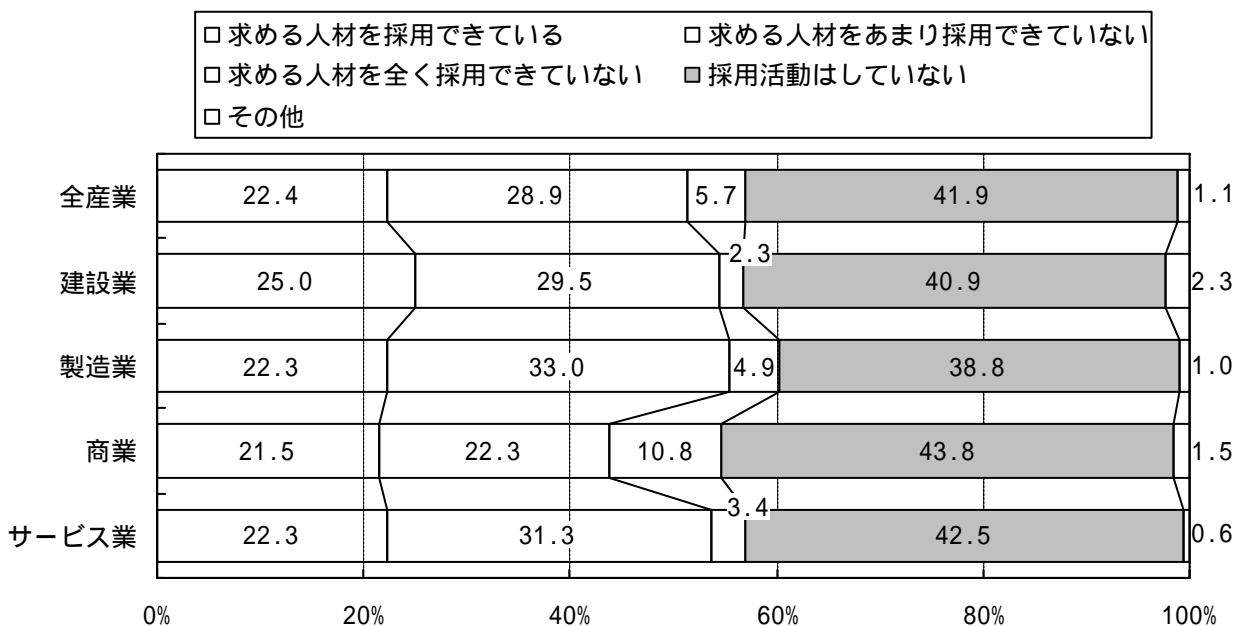
企業が求める雇用形態としては、全産業で最も多かったのが「正社員（中途採用）」の40.1%であり、次いで「パート」（29.1%）、「正社員（新規採用）」（20.4%）、「契約社員」（16.6%）と続いている。「派遣社員」（7.0%）については、製造業で比較的ニーズが高かったものの、全産業においては低い数値となっている。業種別にみると、商業では「パート」へのニーズが最も高くなっているが、それ以外の産業では「正社員（中途採用）」へのニーズが最も高くなっている。

【複数回答】（%）

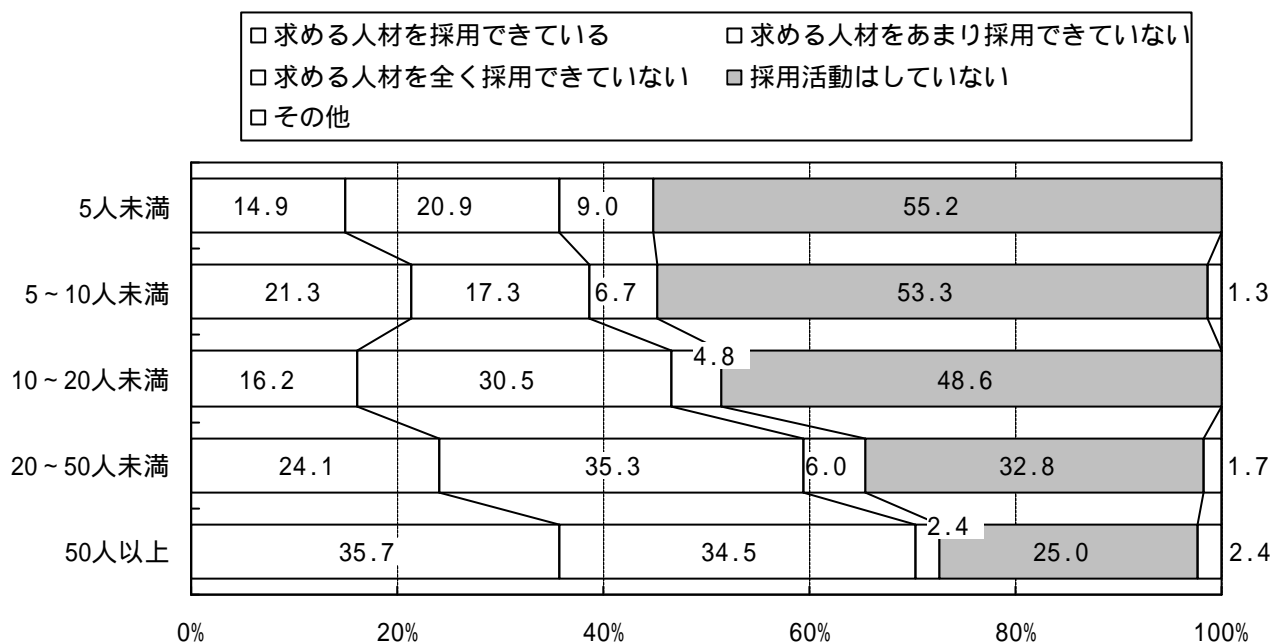
	建設業	製造業	商業	サービス業	全産業
正社員（中途採用）	52.3	50.5	30.9	38.3	40.1
パート	9.1	29.5	37.4	27.3	29.1
正社員（新規採用）	20.5	24.8	20.1	18.0	20.4
契約社員	13.6	12.4	18.0	18.6	16.6
アルバイト	4.5	10.5	14.4	18.0	14.0
派遣社員	2.3	14.3	5.8	4.9	7.0
採用活動はしない	31.8	19.0	23.7	27.9	25.1
その他	4.5	1.0	0.0	1.6	1.3

## 人材の充足度

全産業の人材の充足度としては、「求める人材を採用できている」とした企業は22.4%であった。逆に、「求める人材をあまり採用できていない」とした企業は28.9%、「求める人材を全く採用できていない」とした企業は5.7%となり、3社に1社が人材の充足度に対する不満を持っていることがわかった。また、「採用活動をしていない」とした企業は41.9%であった。業種別にみると、商業で「求める人材を全く採用できていない」（10.8%）とした企業が多かったのが特徴的であった。



従業員数別でみると、従業員数が10人未満の企業では「採用活動はしていない」とする企業が半数以上となっているが、50人以上の企業では25.0%であり、従業員数が増えるにつれて活発な採用活動を行っていることが窺える。また、「求める人材を採用できている」とする企業についても、従業員数が増えるほど全体に占める割合が高くなる傾向がでている。



## おわりに

県内企業が求めている人材として、「営業担当者」、「技術・研究開発担当者」とした企業が比較的多く、求める雇用形態としては「正社員（中途採用）」が最も多くなっている。このことから、県内企業には比較的専門性の高い即戦力になる中堅社員に対する高いニーズが存在すると思われる。しかし、採用活動を行っているにもかかわらず、求める人材を採用できていると感じている企業の割合よりも、採用できていないと感じている企業の割合のほうが高く、この傾向は従業員数が少ない企業ほど顕著に現れている。

和歌山県においては、雇用情勢が厳しさを増すなか、求人側と求職側のニーズの不一致が存在すると考えられ、このミスマッチを解消するためには、能力開発支援機関の充実や、求人・求職情報をはじめとする雇用関連情報の流通促進、キャリアカウンセリングの実施や仲介機能のさらなる強化などが求められるのではないだろうか。